

令和7年3月10日（月）18：30

於：石川台中学校1階視聴覚室

No.	質疑または意見	回答
1	プールが屋上になるとのことですが、具体的な暑さ対策計画を教えてください。	プールサイドの片側半分に庇を設けるほか、屋根のある広めの休憩スペースを計画しております。実施設計では、建築基準法による高さ制限に適合した上で対応可能な暑さ対策について検討してまいります。
2	校舎完成までプール授業は、中止になりますか。	近隣のプールを利用して、プール授業は継続いたします。
3	特別支援学級、特別支援教室のさらなる充実とありますが、具体的に教えてください。	特別支援学級と特別支援教室（現在のサポートルーム）を近い場所に配置しています。学校と議論をしてきた結果、必ずしも特別支援学級とサポートルームを近づけることが良いというわけではなく、その時に特別支援学級に通学するお子さんたちの特性によって変わると伺っています。そうした中でも、教員同士の連携が取りやすくなるなどの効果があればという意図での教室配置としております。 また、インクルーシブ教育を可能とする空間づくりができるよう、ハード面（設備・教室の作り方）、運用面を学校と検討しております。
4	防災について具体的にどのような設備・計画で子どもたちの安全を図るか教えてください。	マンホールトイレの整備や一部1Fのトイレを水道直結とすることで停電時にも利用可能とします。また、水害対策として、避難所となる屋内運動場や武道場の床レベルを1m嵩上げするだけでなく、建物外周部に立ち上げや止水板を設ける計画とします。災害時の水の確保として、応急給水栓を整備いたします。また、断水した際も受水槽から飲料水、プールから生活用水を取れるようにしております。
5	グリーンベルトの既存樹木は残すのでしょうか。	現在の南側緑道は地盤が凹凸しており道路との高低差もあります。バリアフリーの観点や生徒の主な通学動線となることから、地盤レベルを含めて全体的に見直します。植栽は既存と同等レベルまで復旧し、敷地内と合わせて3m程度の歩道帯を設け、通行しやすい計画とします。

6	屋内運動場や武道場は、既存と同じ1階にありますが、避難所として使用できますか。	浸水レベルより40cm程度高い位置に床レベルを設定しており、防災危機管理課と協議を行った結果、避難所として指定できるというお話を受けております。
7	工事終了が7年後とのことですが、工事期間中の避難は可能ですか。	現在も地震時は体育館、水害時は校舎の2階以上へ避難可能であり、工事期間中も継続して避難所として使用可能です。
8	どの木が伐採されるのですか。また、屋上緑化は土が舞う可能性がありますか。	敷地外周部に歩道帯を設けますので、道路側の木は伐採いたします。ケヤキの移植も検討しましたが、移植困難であるため伐採いたします。新たなシンボルツリーとして、宇宙ケヤキの移植を計画しております。屋上緑化については、飛散しにくい軽量客土を採用することで土の飛散を抑えることができます。
9	工事期間中は防音シートのようなものを張る計画ですか。	北、西、南側については、防音シートや防音パネルによる仮設計画を想定しております。詳細については、各工事の節目で行う工事説明会でご説明いたしますので、是非ご参加いただきたいと思います。
10	既存緑道はいつ工事しますか。また、工事車両はどちらから来ますか。	一度にではなく、工事ステップ毎に分割して工事を行います。各工事終了段階で整備前と後の緑道を繋げるようにしますので、工事終了まで通行不可となる計画ではございません。工事車両動線については今後詳細を検討しますが、その都度変わってまいります。 基本的に生徒・児童の登下校時間と重ならないようにし、交通誘導員を配置しますので、生徒・児童の安全が確保できる計画とします。
11	北側の梅の木やザクロの木はいつ頃伐採しますか。	令和10年度の初め頃に既存校舎の解体と合わせて伐採いたします。